

(議決事項)

第1403回 経営委員会議案

2022年6月28日

川口施設（仮称）の基本計画の修正について

埼玉県川口市所在の、さいたま新産業拠点SKIPシティB街区に整備する施設について、別紙の通り、整備方針を含む基本計画の修正を取りまとめた。

については、「定款第15条第1項第1号ト」の規定により、経営委員会の議決を得たい。

(別紙)

川口施設（仮称）の基本計画の修正

1 整備方針

2020年6月に経営決定した川口施設（仮称）の基本計画では、埼玉県川口市にスタジオなどを備えた施設を整備し、放送センター建替に伴いドラマなどの大型スタジオが無くなる間の代替機能を確保することを大きな目的としていた。ただ、新センターと川口の双方に同種機能の設備が併存し、効率性に課題があった。今般、新センター建替計画を抜本的に見直すにあたって、川口施設についてもさらに効率の良い姿に改めるべきと考え、川口施設の基本計画を修正することとしたい。

具体的には、すでに計画している建物の西側に増築を行って（西棟）、ドラマスタジオ2つを追加し、川口施設にドラマ制作を集約する。これにより、新センターへのドラマスタジオの建設をやめ、双方の機能分担を明確に行うこととしたい。これに伴って新センターの設備を大幅にスリムにすることも可能になると考え、精査を続けている。

2 経緯

埼玉県川口市のSKIPシティA街区は、NHKのラジオ放送所の跡地にあり、2003年に運用を開始したNHKアーカイブスをはじめ、埼玉県の彩の国ビジュアルプラザや川口市の市立科学館など、映像関連施設や供用施設が集中する地区となっている。

放送センター建替を契機として、放送事業に関する機能の地域への展開、地域の活用についても期待が寄せられてきた中、SKIPシティの未利用地の利活用について、2017年7月、埼玉県知事、川口市長から「最先端の映像制作拠点の整備」の要望書がNHKに提出された。

そして、2018年12月に、NHKが所有するC街区の土地と、川口市が所有するB街区の土地および埼玉県が所有するB街区の土地の一部（以下、「B-1街区」）を交換することで、川口市および埼玉県と合意した。以降、川口施設の基本計画をまとめ、整備を進めている。

その上で、放送センターの建替計画の抜本的見直しとあわせて、川口施設の内容についても検討し、増築に向けて、2021年12月、B-1街区に隣接するB-2街区についても取得する協議を開始する旨の基本合意書をNHKと川口市で締結した。

3 増築する施設の概要

(1) テレビ番組を制作するスタジオ等の整備
フロア面積約1000㎡の特大スタジオと約600㎡の大型スタジオを整備する。
いずれも4K収録に対応した施設とする。

- これらのスタジオでは主にドラマ番組等の制作を行う。
- スタジオのほか、映像編集室、音声編集室などの番組制作設備、ならびに大道具倉庫、美術倉庫などの諸室を整備する。
- 先行するB-1街区の建物（東棟）と増築するB-2街区の建物（西棟）は、連絡ブリッジで結ぶ。

(2) 建物・敷地（B-2街区）の概要

- ・所在地 川口市上青木3丁目6番8ほか
- ・敷地面積 約11,000㎡
- ・延床面積 約18,600㎡（※機能別面積概要参照）
- ・階数 地上4階（予定）
- ・完成年度 2027年度（予定）
- ・用地取得 川口市と土地交換の予定（2023年度に取得予定）
*差額部分は精算
- ・建設方式 単独建設

※機能別面積概要

機能項目	面積（㎡）	備考
スタジオ	2,980	スタジオフロア・副調、出演者控室など
スタジオ関係室	7,830	大道具倉庫、美術倉庫、リハーサル室など
番組制作関連設備	725	映像編集室、音声編集室など
事務室等	945	事務室など
諸室	1,145	倉庫など
建築設備室	1,250	冷暖房設備室、受配電設備室など
共用スペース	3,695	廊下、階段、トイレなど
合計	18,570	

(3) 整備スケジュール (予定)

- ・ 2022 年度 設計者選定、基本設計着手
- ・ 2023 年度 実施設計着手
- ・ 2024 年度 建物着工
- ・ 2027 年度 建物完成、放送設備工事着手
- ・ 2028 年度 運用開始

○建設予定地の位置

B街区の西側「B-2街区」の約 11,000 m²の土地に建設予定。

<SKIPシティ略図>

